

市民劇場



2010
VOL.216

豊橋演劇鑑賞会会報 ●発行2010年3月26日(金)

くらしの中に演劇文化を広げ、日本演劇の民主的発展をめざしましょう！



演劇鑑賞会に入って

芝居はもともと大好き。この会に入れば二月に一回は芝居が観られる。それも近頃評判の高い芝居ばかりが二月に一回ぐらい観られる。これは有難いことだ。

夫婦げんか、愛情問題のもつれと解決。希望の成就と破綻とその結末。人間生活のあらゆる面が舞台上に展開される。こんな面白い事はない。

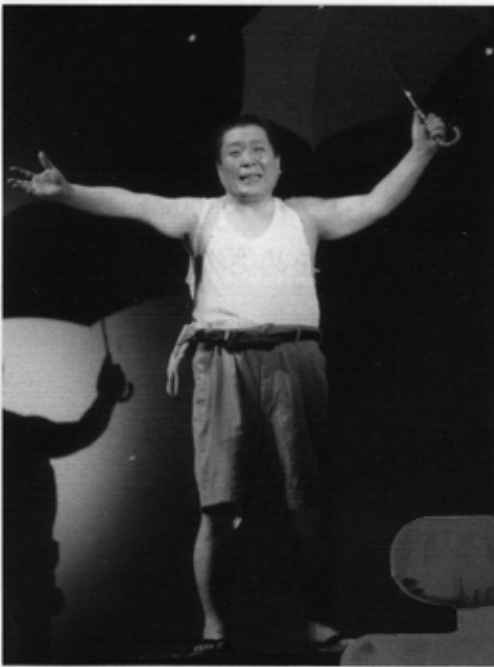
会場へは車に乗り合わせて行くことが多い。駐車場では、寒い中に元気で車のリードして下さるスタッフの人達がいる、あんまり運転上手とはいえない車を誘導して下さる大井さんらの大きい姿がある。ああこの人達のおかげで芝居見物ができるのだなあ、うれしい。

パンフレットなど購入するのめたのしい。なかにはむつかしい芝居もあって一寸した説明を聞きたいからだ。近くは、「新・裸の大將放浪記」など期待している。「令嬢ジュリー」なども。

楓 黒川喜七



ケイタイでんわの電源は切りましょう！



新裸の大将放浪記

原作/山下清
作/藤本義一
脚本/米倉斉加年、芦屋小雁
演出/米倉斉加年

- 3/26(金) 6:45開演
- 3/27(土) 1:30開演 (2ステージ)
- 上演時間 2時間25分 (休憩15分)
(開場は開演の30分前)
- 豊橋勤労福祉会館 (アイプラザ豊橋)

***** あらすじ *****

太平洋戦争下、山下清は放浪の旅に出る。とある田舎町の駅で清は、盲目の少女と出逢う。そして少女の勤め先、軍国食堂で清はしばらく働くことになった。放浪の旅に出る前の清は、八幡学園という養護施設にいた。八幡学園では、陶工や木工などを学習していた。清はその中でも、絵に興味を示し、驚くべき才能を発揮していた。突然姿を消してしまった清を心配した園長の馬宮先生は、清をようやく探しあて迎えにやって来た。清は徴兵検査を受けなくてはならなかったのである。しかし清は見事に検査を落第する。

そして清は絵の世界に没頭する。戦後、山下清は有名な画家になった。放浪の旅は終わっていた。「放浪の天才画家」「日本のゴッホ」そんな敬称が放浪の旅を愛した山下清には、随分重たいものだった。いつも純粹に真実を見据えた山下清画伯の心には、どんな想いが渦巻いていたのか。

そして旅の終わりにあったものは……

山下清略年譜

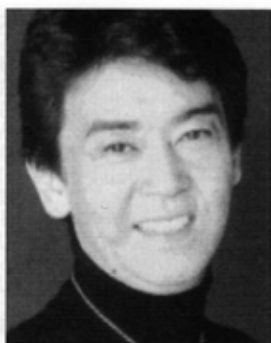


「東海道五十三次」より

- 大正十一年(一九二二)三月十日、東京市浅草区田中町九〇番地(当時)で大橋清治、ふじの長男として生まれる。本籍は新潟県佐渡郡新穂村。弟妹に源治、辰造、愛子。のち山下姓となる。
- 大正十三年(二二歳)関東大震災で焼けだされ、家は翌年新潟市白山へ。
- 大正十四年(二三歳)重傷の消化不良にかかり言語障害となる。
- 昭和三年(六歳)浅草石浜小学校に入学。ひとり虫をとってきて絵をかき小学校三年の時、手工で賞をもらう。すでに字を書くより、絵を描くほうが好きだった。
- 昭和七年(一〇歳)父死す。知能のおくれが目立ちはじめ、いじめられて反抗的となる。
- 昭和九年(十二歳)千葉県の精神薄弱児童養護施設「八幡学園」に入園し「ちぎり絵」をはじめ熱中する。
- 昭和十一年(十四歳)「八幡学園」顧問医の式場隆三郎氏により文芸春秋に、作品が発表される。
- 昭和十五年(十八歳)十一月十八日早朝、風呂敷包み二つ持って八幡学園から姿を消す。放浪生活を始める。
- 昭和十五年から昭和三十一年(三十四歳)まで、南は九州から北は北海道まで文



島田順司
【食堂のご主人】



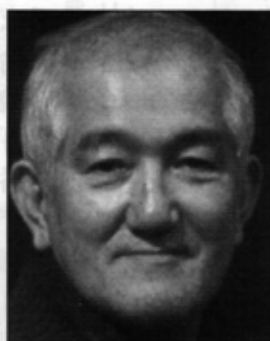
おりも政夫
【馬宮先生】



芦屋小雁
【山下 清】



西崎 緑
【食堂のおかみさん】



米倉 斉加年
【銀玉 (易者)】

【その他のキャスト】

- 松子……………津田美保
- 南田吉太郎……………島田順司
- 駅員／坂田／中尉……………貞永淳
- 亀吉／下士官……………内田潤一郎
- 米造／衛生兵……………府川文吾
- 巡査……………山梨光國
- 小谷／上等兵……………井上剛
- 石川／上等兵……………永野和宏
- 山下源造……………上野日呂登
- 母／新聞記者……………溝口貴子
- 通行人……………中谷由香
- お手伝いさん……………吉田理江
- 旅行者……………青山恵子
- 尾鼻隆



キャスト

字通り、全国各地を放浪。

その間、年に一度の割合で学園に戻り、数多くの作品を制作。そして、また放浪に出るという生活をおくる。「溢ます、争わず」というのが、清の放浪を通過して得た処世哲学だった。この二つだけで、敗戦前後の最も苛烈な時代をひとり生きてきぬてきたのである。

この間、ひよこり母のもとや学園に姿を現します。とくに学園では、放浪中たまった画想を二気に吐き出すかのように、貼絵や油絵を制作、また克明な放浪日記を書きつりました。

八幡学園に戻ると、ノートに驚くべき記憶の確かさで克明な日記を書きのこしました。全文、改行句読点なし。まわりくどいが何のてらいもない文章は、ふしぎなユーモアと感動があります。

昭和九年(十二歳)ごろからはじまる山下清の制作活動は、色紙を指でちぎりノリつけする貼絵が中心で、精細をきわめた作品を多数残しています。

昭和三十一年(三十四歳)から主としてマシクインクペンによる風景画をはじめ、美しく、正確な線と点描により一つの絵画的完成をみせます。

●昭和三十一年(三十四歳)

気ままな放浪生活に終止符。以後数年間、全国各地で作品展を開催。観客動員八〇〇万人という大記録。

●昭和三十六年(三十九歳)

放浪癖も直り、式場隆三郎氏と共に、フランス・ドイツイギリスなどヨーロッパ一周スケッチ旅行に出かける。

●昭和四十六年(四十九歳)

突然の脳出血で死去。

令嬢ジュリー



◎作/ストリンドベリー

◎訳・演出/加来英治

◎出演/栗原小巻 清水総治

木村万里



～あらすじ～

真夏の祭りの夜、伯爵家の台所。踊り疲れた下男ジャンが、許嫁の台所女クリスティンの立ち働くキッチンへ、胸元に汗を滴らせながら、走り込んでくる。「令嬢ジュリーは気が変になっちゃった。森番なんかと踊ったりして、この俺にまで、レディ・ワルツのご所望だ」

令嬢ジュリーは二週間前に婚約を破棄。

それからというもの、神経が昂ぶり、また時には考え込むように沈黙し、そして、踊り狂う。

ジャンがクリスティンの料理に舌鼓を打ち、伯爵のワインを盗み飲む、その時ジュリーが登場する。

「ジャン、こんどはスコッチダンスを踊るわ。今日はお祭り、身分なんか忘れるの。」

踊り終え、二人はキッチンへ戻る。狂おしい白夜――。

十九世紀末スウェーデン。

白夜の夜。夏至祭りの前夜祭。

令嬢ジュリーと下男のジャンは

身分を忘れて踊り狂う。

「私、いつもこんな夢を見るの。

高いところからずっと、ずっと

下の方へ落ちていく。」

●5月21日(金)6:45開演

●5月22日(土)1:30開演
(2ステージ)

●上演時間 1時間55分(予定)
(休憩なし)(開場は開演の30分前)

●豊橋勤労福祉会館
(アイブラザ豊橋)

「日本演劇の民主的発展」という 鑑賞運動の理念を実現するために…

私たちの演劇鑑賞運動は、全国的にみて厳しい状況にあります。

一昨年20万会員だったのが、今年に入って19万名を割ってしまうような後退状況にあります。豊橋の現状は、昨年の3月例会時に2千名を割り込んだものの、7月例会以後4例会連続で前例会クリアを達成し後退をくい止めている状態です。一昨年の秋に東京で開かれた全国総会で「もう一団体も潰してはならない」という決議をしたものの、今年度だけで2団体が解散してしまいました。解散の原因は様々ですが、共通して言えることは、運動理念を明確にしないまま、ブロックにも連帯せず、会員制やサークル制といった会の基礎を自ら崩壊させるような無原則的な活動をくり返していることです。

各鑑賞会がブロックに連帯して鑑賞運動を前進させていくことの大切さを考える場合、昨年秋に岡崎が決定した幸田会場閉鎖問題は非常に教訓的です。岡崎はここ10年あまり、岡崎会場と幸田会場の二会場で例会を続けてきました。

しかし、会員の減少とそれにとまなう逼迫した財政状態に苦しみ、昨年10月の臨時総会で幸田会場の閉鎖を決定してしまいました。この決定に納得しない多くの会員がいることを知ったブロック幹事会は、幸田で観ていた会員のみなさんに集まってもらい、率直な意見を聞く場を設定しました。その集まりでは、幸田で引き続き演劇を観ていきたいという圧倒的な意見を前にして、幸田の会員自身の手で新しい鑑賞会をつくっていく方向に動き出しました。設立準備会を発足させ、ブロック幹事会がバックアップする体制をつくりました。

幸田の会員の多くが「お客さん」の気分でしたので、運営サークルはおろか会員を増やす活動が未経験に近い状態でした。しかし今度は、自分たちで会を立ち上げようとした以上、自分たちで会員を増やし広げていくしかありません。岡崎からの「分離・独立」を決めたことで、はじめて組織の原則や自分たちの手で仲間を増やし演劇文化を根づかせていくことに、意識的に向き合えることになったのです。

準備スタッフの頑張りで、準備例会「冬のライオン」では412名の会員を迎え、2月27日に設立総会を開きました。潰れていく団体も出てくる中であって、新しい鑑賞会が誕生したのです。一人立ちするには、まだまだ多くの課題を克服していかなければなりません。そこはブロックの支援と指導で乗り切っていきたいものです。

幸田演劇鑑賞会は、中部・北陸ブロックでは18番目の新しい演劇鑑賞会ですが、会員自身が会費を持ち寄り、サークルを基礎に自らの手で演劇文化をつくり広げていく素晴らしさを実感する瞬間でした。

一方、これとは対照的に四国の香川市民劇場では、昨年の暮れに岡崎と同じような問題が起こり、二会場の一会場であった丸亀会場を消してしまいました。何が違ったのか？それはやはり単位団体まかせにするのではなく、ブロックが会員の要望に耳を傾け、明確に「分離・独立」の方向性を打ち出せたことによります。私たちは、「日本演劇の民主的発展」という運動理念を掲げています。これは新劇が築いてきた演劇文化を鑑賞者として継承し、劇団と鑑賞会とが対

等平等の関係を築き、日本の演劇文化発展させていく壮大なロマンを秘めた言葉なのです。財政的に苦しくなったからといって、会員の要求に逆行する鑑賞の機会を奪ってしまう決定を下したり、会員自身の手で仲間を増やす取り組みに真正面からぶつかって、自分たちの責任で民主的に運営していくことをおろそかにすることは、全て運動理念に背く活動だと思えます。

人間関係が希薄になり、孤立化した人たちが増大する社会にあって、人間らしく生きることが息苦しい世の中で、手間暇がかかりながらも、顔の見える人間関係を大事にして、サークルの持つ「話し合い、協力し合い、学び合う」心を活動の中心にしてきた鑑賞会は、荒廃する社会の流れとは対極にある文化活動をいまも進めています。地域社会の中にさえ、共同性が失われた今、その共同性や人間味溢れる関係性を再生させていくためにも、私たちの鑑賞会の存在は大きな意義を持つていると思います。来年創立35周年を迎えます。会員2千名を早急に回復させ、新たな展望を切り拓いていきましょう。

(文責 大井)

第215回例会・2月
幹の会+リリック
「冬のライオン」



- 感想文 -

平幹二郎に再会して

ドリーム 山口洋子

三十数年前、名古屋演劇鑑賞会に入会していた折、平幹二郎と佐久間良子共演の舞台を観て以来の本当に久し振りの平幹二郎でした。当時より益々迫力が増し、それに比して力みが薄らぎ、往年の魅力が深まった演技に引き込まれました。

麻実れいにも魅了され、その大満足の舞台に、万感を込めて力いっぱい拍手を送りました。

新入会員として今回より、お世話になります。今後の鑑賞会を大変楽しみにしておりますのでよろしくお願いたします。

すばらしい舞台

イスクラ3 土谷

すばらしい舞台でした。モダンな背景が廻り舞台でスピーディーに転換するのが楽しかったです。役者さんは長尺なセリフも軽々とこなし、すばらしい発声で良く聞き取れました。お話は快調に進み、さつきは味方と想っていた人も、次の場面では敵となっており翻弄されました。麻実れいさんの優雅な身のこなしには圧倒されました。

言葉の迫力におされて

とんぼ 梅崎幸代

舞台装置のシンプルスさと同時に舞台の薄暗さが目に入ってきて、これからどういいう風に展開していくのかと思いきや、平さん初め出演者の方達の言葉の迫力には圧倒されっぱなしだったし、さすがだなと思いました。時折見せてくれた麻実さんの女性らしい言葉や動作に垣間見せてくれる家族への愛？近くで観られてとてもラッキーでした。

どこまでも信じ合いたいの

キャッツ 高木久美子

うーん。久しぶりに引き付けられる劇だった。最初から最後までしっかりセリフを聞いていないと人物の心が読めない。一つ一つの言葉が人の心の微妙な揺れ動きを表しているの、じっと身動きさせ

ず集中して舞台にのめり込んでしまつた。こんなことは私にとつてめずらしい。裏切り、陰謀が次々とくり返され、ころころと

変化していくので話についていくのに疲れた。そして見た後も場面場面の意味、人物の心の中は本当はどうだったのかと疑問を投げかけてくる。人間互いにどこまでも信じ合い愛し合いたいの、心の隅のどこかで相手に疑いをいだいてしまつたのは、強大な力を持つてしまった者だからなのか。

憎しみなのか、愛情なのか

…？

タッチ H・S

二十五年間お芝居から遠ざかっていて、久し振りに贅沢な気分で見たい「冬のライオン」。

王や王妃らのせりふや、立ち居振る舞いが素晴らしい。陰謀が渦巻く中で、憎しみなのか愛情なのか、正直最後までよくわから



なかつたが、王と王妃が手に手をとって歩くラストシーンがとても感動的だった。

この上ないやさしさ

ティーベル 鈴木玲子

権力に固執した暴君の主人公へソリーとエレノアを始めすべての登場人物が、媚びたり欺いたり、流れるような台詞で展開される中、家族の表裏を余す所なく見せつけられた感がありました。

けれども、長い長い道程を経て最後は平さんがとてもいい顔になっていました。ワインをお渡した時、この上ないやさしさでほほえんでくださいました。

ウツ、感動です。

愛すべきは人間

ほがらか 石川ひとみ

こんなにドロドロ満載の演劇は初めて観る気がする。多くの台詞が語られたが、どれが真実なのか本音なのか、次第に解らなくなり思考停止のまま最後まで。観終わってから色々な場面がグルグル回り、今は愛しきは人間。欲深く、愚かだが愛さずにはいられないと思う私がいる。そして、劇の続きを想像する私がいる。

みんなの声

かんのん

○麻実れいさんの迫力に圧倒され帰ってからも興奮が抜けない。
○せりふの深い意味が余り理解できないまま芝居が終わっていた。
○平幹二郎さんの声が素敵。よくあれだけ覚えていられるものだ。
○結局、それぞれがどうなったのかよくわからない。観る人の想像に任せられるのかな。
○舞台装置と衣裳の斬新さが印象に残っている。

○この劇のテーマは何なのか。「愛」なのか。崩壊していく家族の姿の裏に隠されたものを探るのが。



運営サークルのページ

第215回例会
幹の会十リリック
「冬のライオン」

例会日

2月12日(金)
2月13日(土)

運営の感想

前例会クリア

ベチャクチャ 小元

例会運営が始まり、お誘いしなくてはならないながらも、なかなかエンジンが掛かりませんでした。それでもと思い声を掛けたのですが、残念ながら断られ、気持ちがいしぼんでしまいました。そんな時運営サークル会で、皆のお誘いの話を聞いて元気をもらいました。私もあきらめずに声を掛けてみようと思ひ、同級生に電話をしたらいよいよと返事があり、新入会を迎える事がこんなに嬉しいという事を改めて感じました。そして前例会クリアにはまだまだの入会者数も、日ごとにクリアへ近づき、皆であきらめず声掛けする凄さに感動しました。又後一名でクリア出来るという日に、何と私のサークルで二名の入会があり見事前例会クリア出来ました。本当に感激しました。そして今回前例会クリアを意識し、達成した喜びを感じた事はありませんでした。

サークルみんな仲間増やし

キャツツ

今までずっと演劇を見せてもらうだけのサークルでした。でも今うちよつと変化。運営担当だけ当日の仕事はできない分だけ、仲間増やしを頑張ろうということになったのです。互いに「あの人はどうかしら」と共通の知人の名前をあげ、二、三人で声を掛けてみました。自分一人で呼びかけるよりも楽しく気軽にできました。演劇のすばらしさを娘さんと誘ってくれた人、自分の車のディーラーさんに声をかけてくれた人、みんな頑張りました。結果三人入会。やったあ！

大きな力に

ほがらか 石川ひとみ

第一回目のサークル会に五九名の入会がないとクリアできないと知り、大変だ〜と思つたが、終盤になりあと十二名、あと六名、それぞれ担当のサークルに新情報を流し希望があることを伝えると、応えるように入会が増え、クリアできました。一人一人の小さな力が合わさり大きな力になった事が

自分が輝いて!!

ぎやらり〜亜沙 坂井あさ代

「人をさそう」ということのおすかしで、相手に何を伝えるのか。いつも自問自答、悶々と日が過ぎおまけに風邪をこじらせて、落ち込む自分が又いやになる。東京で下見した、あのすばらしい舞台を人に話すこと、それは、楽しくて、輝く自分を発見する。「え、それ何？観たいなあ、平幹にあいたい。」それで入会。いいな。

小夜食づくりのおまけ

こまくさ 佐藤

初めての小夜食作りに参加した主演の平さんが食へにみえた。ミーハーの私がお帰りの際に、「握手して下さい」とお願いしたら快くニコニコと応じて下さった。暖かくて柔らかい掌だった。小林十市さんとは祖父小さん、弟花録のことで話はずんだ。

搬入も手伝った。運んだ大道具がどのような形で舞台にあらわれるのか興味を持って観ることが出

きた。



搬入に参加して

とんぼ玉 仁科あさ代

今回、運営委員になり、搬入の仕事を手伝いました。初めて見る舞台は、広くて天井の高さには、びっくりしました。色々の装置が運び込まれ楽屋も初めて見る事ができ、どんな舞台どんな芝居になるのかと期待と興味があふれました。今まで舞台の上や裏の方を見た事の無い方は、ぜひ搬入、搬出をお薦めします。楽しいです。

舞台によって

スコピオン M・S

舞台の脇に横付けされたトラックから下ろされた大道具などを、指示に従って舞台の各場所へ運びました。運んだ大道具がどんな風になるか舞台を見る楽しみが増えました。初めて舞台上ったのですが、客席があまりにもよく見えるのに驚きました。居眠りしてもおしゃべりしても俳優さんには分かるだろうし、私たちの食い入るように見つめる視線も受け止めてくれるだろうと思いました。

皆の力で運営する会のよさ

かんのん 水藤典子

運営サークルの責任として一名の会員のお誘いができず、その分当日の仕事で頑張ることにした。小夜食に漬物と甘酒の差入れ、甘酒は初めてのことなのでどうかかと思つたが、大変好評だったとのこと。二回目はロビー責任者の係、これはうろろしている間に終わつたが意外に疲れた。皆で運営する鑑賞会を改めて実感しました。

運営サークル会も楽し

こま草 村松暎和

愛憎と欲望を軸に「地下室幽閉の鍵など」いろいろな。棺おけにすればいい。」等の皮肉逆説がちりばめられたセリフたっぷりの劇だった。とくに今回良かった事は、舞台大道具搬入ができたことだった。

組立て前見ていた装置から実際に舞台上で照明があったり、あざやかに変身する背景に見入った。

金色に輝くライオン像、微妙な粗面な壁、カーテン、タペストリー、クリスマスリース、椅子ソファ、一段高い床、廻り舞台上で背景の装置が向きを換えただけで、又ちがった表現をしている。最近の映画DVDに見られる微細なまでの背景に対して簡潔でまたその力強さに一層想像力が増大された。

搬入楽し、運営サークル会参加の観劇であった。

クリアーに向けての私のテーマ

スコピオン T・I

年末年始に心がゆるんでいて、中々自分自身も盛り上がりえず、気を取り直し、新しい入会案内を年賀状の中からピックアップして送りに送り、届いた頃を見計らい電話をしたのですが良い返事がもらえないことばかりでした。

そっだ!!消えたサークルには観たい人も居たのだと思ひ、声かけをしよう、趣味の稽古仲間、旅行仲間等に聞き回したら、意外に身近に居たのです。すぐ返事が返ってきて入会。消えたサークルの再入会もあると思ひ、声をかけ続けることが次回に続く確信しました。

運営サークルの一員になつて

土筆

すべて代表者まかせてサークルの一員として鑑賞会に参加してききましたが、突然その代表者が退会し途方にくれてしまいました。さらに追い打ちをかけるように、今度は「冬のライオン」の運営サークルです。」と言われ、運営サークルとは何かということもわからず、とりあえず会議に顔を出してみました。当初は何のためにこんな会議があるのかという思いがありました。回をかさねるにつれて「なるほど」と思うようになりました。

ただ単にチケットを購入して劇場に足をはこんで観劇することとは違つて、公演にむけて会員自らが運営・企画に参加し、任務分擔をしながら受身的ではなく能動的に公演を作りあげていく、こういうことの積み重ねで演劇文化を広げさらに発展させていくということを実感できました。

ブラスーを!

ティーベル 海老澤

1月25日、4回目の運営サークル会に1さんと一緒に参加したのが始まりでした。「前例会クリアまで、あと28名」の、いつもの、

そしていつもより厳しい退会者の状況の報告。「愚子を入れました」の声や、懸命に声かけしているサークルの発言に、私たちもなんとかしなくては、という気持になり、その日、参加した1さんもたくさんのチラシを持って帰られました。数日後、彼女の知人のなかからひとりが入会。さらに翌週もうひとり、なんと二人の新しい入会者があったのです!

二人が事情で退会してから半年、又、1人に戻して平幹二朗さんを迎えることができました。

今、「一度サークル集会をしようよ」の声があがっています。

大女優のオーラ

ドリーム 本多昭子

公演終了後、楽屋の片づけをしました。舞台上王妃エレンアが着ていた大胆な図柄の衣装がハンガーに吊してありました。麻実れいさんのゴージャスな演技の中で他を圧倒するような効果がありました。暫く掃除をしておりましたら、まさか平幹二朗さんだとは思ってありませんでしたので、「今のひょっとして...」という状況でしたが、そのあと続々と役者さんが出てこられ、皆さん間近で拝見すると、素敵でカッコいい方ばかりでした。どの方も「お疲れ様、ありがとうございました」と声をかけて下さ

いました。麻実れいさんはお化粧を落とされ素ツピンでしたが、日本人離れした体格と彫りの深い御顔立ちが翻訳劇には打って付けた

と改めて感じ、去って行かれたあとも大女優のオーラが漂っています。我々は非常に満足した運営参加でした。

~新入会を迎えたサークル~

※数字は入会者数、
太字は運営サークルです。

イスクラ	3	オリオン	1	いずみ	1
ドリーム	2	泰山木	1	御油小町	4
とんぼ玉	2	ティーベル	2	赤ずきん4	1
青葉	1	森の会	2	おかめ会	1
女神の空	1	多夢	2	赤ずきん3	1
堪忍袋	1	椋山	1	みゆき	2
ベチャクチャ	4	和	1	タッチ	1
テンダーウーマン1	1	ZAQ	2	小窓	1
たかし	1	リーベ	2	みよし	3
華	3	とんぼ	1	テンダーウーマン2	1
ノンフォーム	1	枝折戸	2	すこやかII	1
スコピオン	4	マーガレット	1		
サーティワン	1	紫陽花2	1		
キャッツ	3	ほがらか	2		

運営サークルの
ときには1名以上の
新入会を!

運営サークルのまとめ



幹の会+リリック
「冬のライオン」

第1回 運営サークル会

(27サークル40名参加)
二〇〇九年十二月二日、第一回目の運営サークル会を行いました。サークルの自己紹介を行い複数参加したサークルがありました。出席率49%でしたが、初めて50%にしたかったです。事前にサークル集会をしたサークルは活発な意見が出され盛り上がりました。59名の退会を上廻る拡大をしようと話し合いました。

演劇講座と 第2回 運営サークル会

(27サークル33名参加)
二〇〇九年十二月二十一日、リリックのプロデュース・秋山



第3回 運営サークル会

(18サークル21名参加)
参加者が少なく、入会がまだ18名と少なく、みんなの気持ちも発音がちで、演劇講座の感想も、模索しました。しかし増やそうよという思いは、みんなの中にあるのが、発言から感じられました。「よしやろう、やるしかない」

第4回 運営サークル会

(25サークル30名参加)
参加率が上がってきたのは、サークルへの声かけを確実にしたこと、結果的にやる気となりました。31名にまで、入会が拡がってききました。あと何人あと何人を伝えることをしっかりやろうと、ここでも又、一致団結。この運営サークルに参加した人の輝きをみる思いでした。「真剣だと知恵が出る。中途半端だとぐちが出る。いいかげんだと言いつつやる。」このことばをしっかりと思い出しました。

臨時の運営サークル会

37名までできましたがあと二週間で、やりきることができるとか、サークルから、一人二人

- 運営委員**
- 佐藤聖子(こまくさ)
 - 小元秀子(ベチャクチャ)
 - 稲垣時枝(スココピオン)
 - 鈴木萬喜子(スココピオン)
 - 萩本匠史(よせな)
 - 石川ひとみ(ほがら)
 - 水藤典子(かほん)
 - 坂井あさ代(きやらりー亜沙)
 - 仁科壮一郎(とんほ玉)
 - 高木久美子(キヤッツ)
 - 北村以登子(ジュリエット)
 - 河合末子(ジュリエット)
 - 河合雅子(ジュリエット)

と拡大の人数が入るたびに、拍手でよろこびあうなかで、やれるという確信になりました。

あと一人あと一人と電話を入れました。とことん電話して、サークルの人を信じました。毎日それから入会の電話が入りました。

第5回 運営サークル会

二〇〇五年3月以来の60名を越す入会者を迎えました。6年ぶりの快挙でした。サークルの人達があきらめず、声かけた結果でした。「頑張りすぎずあきらめない。」というのが教訓となりました。

感想もいろいろでした。あの二人はどうなっていくのか等が気になるが、結局は観る人の想像に任せられるのではないかと、二人の長いセリフのやりとりの迫力に圧倒された、意表をついた衣装や舞台美術の素晴らしさ等々は尽きませんでした。

会員数	
11月 「静かな落日」	1,969名
2月 「冬のライオン」	1,976名
入会66名、退会59名 +7名	
サークル数	
+4サークル	-6サークル
(新設サークル1、根分け1、サークル化2)	
運営サークルの活動	
運営希望サークル	55サークル
参加サークル	48サークル
入会を促したサークル	17/48サ 35%
入会者数	35/66名 53%
例会参加状況	
2/12(金)ヨル	769名
2/13(土)ヒル	913名
総数	1,682名
例会参加率	85%



運営サークル会の日程

「新・裸の大将放浪記」

第5回運営サークル会
4/6(火) 2:00～と7:00～

「令嬢ジュリー」

第3回運営サークル会
4/5(月) 2:00～と7:00～

第4回運営サークル会
4/27(火) 2:00～と7:00～

「令嬢ジュリー」例会

5/21(金) 6:45開演
5/22(土) 1:30開演

第5回運営サークル会
5/31(月) 2:00～と7:00～

(運営サークル会は代表者
だけでなく、各サークル
複数で参加しましょう。)

久しぶりに栗原小巻さんが舞台に戻ってきます。5月例会「令嬢ジュリー」を運営サークルの手で成功させましょう!

5月例会 エイコーン「令嬢ジュリー」の運営サークルのみなさん

A番のサークル	B番のサークル	C番のサークル	D番のサークル
翼 サーティワン 桜の園 かわらよもぎ バイオレット 藤 美水 若草 マキシム マナビス 椋山 枝折戸 ミズ・デイジー ゆう3 ゆう2 御油小町 メリーポピンズ 蓮華 希望の帆	たなご 歳 しずく 三鈴 ゲンノショウコ 三姉妹 雪月花 松竹梅 コンジュ おせき飯 チェリーズ 忍冬 かぶと HOO	里茶 ポインセチア ウッドストック2 ウッドストック 子どもぐり オリオン いずみ 泉 イズミ むぎ たかし てまり ブラックウィドワーズ レモン	だいこんの花 ベティーちゃん お姉ちゃん エルカ してこぶし ガヤ娘 赤ずきん4 みゆき会

総数
56サークル
309名

開演5分前の中央づめについて

*舞台と観客の客席を緊密にして観劇しましょう。

開演5分前の1ベルの後、運営サークルの指示で、会場中央に向かって座席の横づめをします。

*開演に遅れた方は、2階席へ。

休憩後は指定座席の「列」の空いた席に詰めてすわりましょう。

例会場内での飲食・喫煙、および写真撮影はできません。
例会場内では、携帯電話、アラーム時計等々の電源をお切り下さい。会員みんなで気持ちよく観劇できるように、協力しましょう!

鑑賞会活動日程

「令嬢ジュリー」観劇希望日≠切日

4/14(水)

「令嬢ジュリー」座席シール渡し期間

4/26(月)～5/1(土)

「令嬢ジュリー」例会日(2ステージ)

5/21(金) (ヨル) 6:45～

5/22(土) (ヒル) 1:30～

「新・裸の大将放浪記」後の退会手続き期間

4/7(水)

中部・北陸ブロック活動日程

全国幹事会 4/15(木)～16(金)

ブロック活動交流集会 4/24(土)～25(日)

例会の感想や運営についてのご意見をどんどんお寄せ下さい。

豊橋演劇鑑賞会のメールアドレス enkan76@mx2.tees.ne.jp